



DG Value News

第39期中間のご報告

2019年1月1日～2019年6月30日

特集

“心をとらえ、動かす”

特別な表現力を持つ

大判インクジェットプリンター

「TrueVIS VG2 シリーズ」新登場

ローランド ディー.ジー. 株式会社

証券コード 6789



TrueVIS
VG2 Series



成長分野の拡大と 新たな市場の創造に 取り組みます

代表取締役社長

藤岡 秀則

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、当社グループが取り組んでいる中期経営計画では、2020年の最終年度までを新たな成長ステージに向けた転換期と位置付け、事業ポートフォリオの転換と事業運営力の強化に注力しております。事業運営にあたっては、「成長分野の拡大」、「サイン市場向けプリンターの下げ止め」、「収益性の改善」を重要課題として捉えております。こうしたなか、取り組む事業分野を「DP（デジタルプリンティング）

事業」、「COTO（コト）事業」、「DGSHAPE（ディージーシェイプ）事業」の3事業へと再設定し、2018年9月より各事業に対応した事業別組織体制に移行いたしました。経営資源の配分をより一層明確にした新たな組織体制で、市場の変化を捉えた迅速な意思決定とスピード感あふれる事業運営を推進し、成長分野の拡大と新たな市場の創造に取り組んでまいります。

企業理念

ミッション

デジタル技術の活用で、
より豊かな社会を実現する

スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう

■ 株主還元

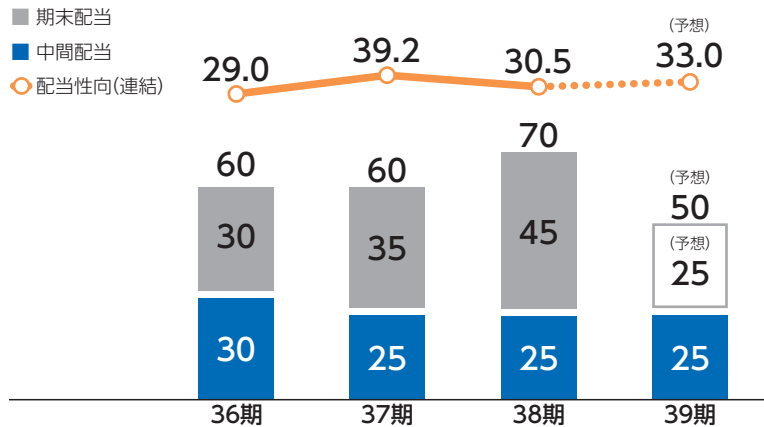
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最優先と考え、業績に応じた利益還元を基本とし、連結利益に対する配当性向30%を念頭に今後の事業展開を総合的に勘案の上、決定したいと考えております。

当期は、中間配当につきましては25円といたしました。また、期末配当につきましては25円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金／配当性向(連結)

(単位：円／%)



🎁 株主優待制度

毎年12月末現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さまを対象に、年1回当社が選んだ世界各地の名産品(3,000円相当)を掲載した株主優待オリジナルカタログの中から一品をお選びいただくものです。

2018年12月期実施分 株主優待申込商品ランキング

1. 佐賀・田嶋ハム工房 こだわりハム・ソーセージ詰合せ
2. 木の屋石巻水産 こだわり缶詰詰合せ
3. カゴメ フルーツ+野菜飲料ギフト
4. 鹿児島県産黒毛和牛 すき焼き用
5. 新潟魚沼・ゆのたに 新潟県産特別栽培こしひかり「鼻眞」



第2四半期決算ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

■ 決算ハイライト

当第2四半期の決算は、主にサイン市場向けプリンターの売上が減少し、売上高は減収となりました。費用面では、主に人件費が減少しましたが、売上高が減少したことにより営業利益、経常利益ともに減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の減少や、前年同期にソフトウェア資産の除却等の固定資産除売却損による特別損失を計上したこともあり、増益となりました。

事業活動においては、DP事業では、主力市場ながらも競争が激しくなっているサイン(広告・看板製作)市場に向けて、表現力と信頼性を高めた新製品を投入しました。また、地域パートナーとの協業(Co-Creation)により製品ラインナップの強化に取り組みました。

COTO事業では、市販車両に当社製品を載せ、小売店舗やイベント会場でオリジナルグッズ製作サービスを通して楽しさや喜びを提供するクルマ COTOVAN(コトバン)を製作しました。日本各地のさまざまなイベントに赴き、商品に付加価値を与え、お客さまに魅力的な購買体験を提供する新しいビジネスを提案しました。

DGSHAPE事業では、デンタル(歯科医療)市場において地域展開の加速とシェア拡大に取り組みました。加えて、今年3月にドイツで開催された世界最大のデンタル展示会「IDS2019」をはじめとする世界各地の主要展示会に積極的に出展するなど、販売促進活動に注力しました。

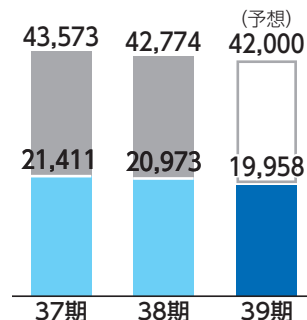
■ 連結業績予想

通期の連結業績予想は、売上高は前期を若干下回り減収となる見通しです。利益面では、技術力強化のための研究開発費の増加に加え、成長分野の活動強化に向けたプロモーション活動を行う費用が増加することに加えて、為替レートを前期に比べ円高に見込んでおり減益となる見通しです。

売上高

(単位：百万円)

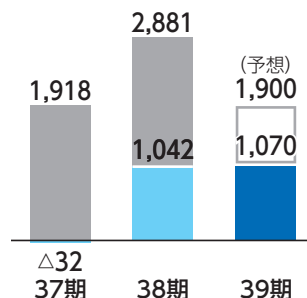
199.58 億円
(前年同期比 4.8%減↓)



親会社株主に帰属する四半期純利益

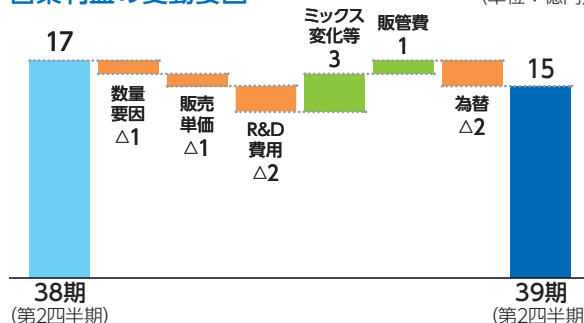
(単位：百万円)

10.70 億円
(前年同期比 2.6%増↑)



営業利益の変動要因

(単位：億円)

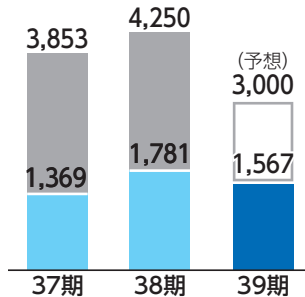


営業利益

(単位：百万円)

15.67 億 百万円

(前年同期比 12.0%減↓)

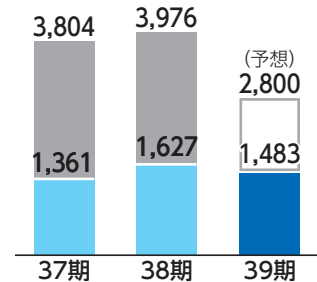


経常利益

(単位：百万円)

14.83 億 百万円

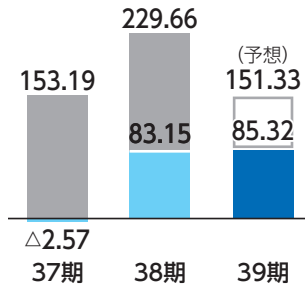
(前年同期比 8.9%減↓)



1株当たり四半期純利益

(単位：円)

85.32 円



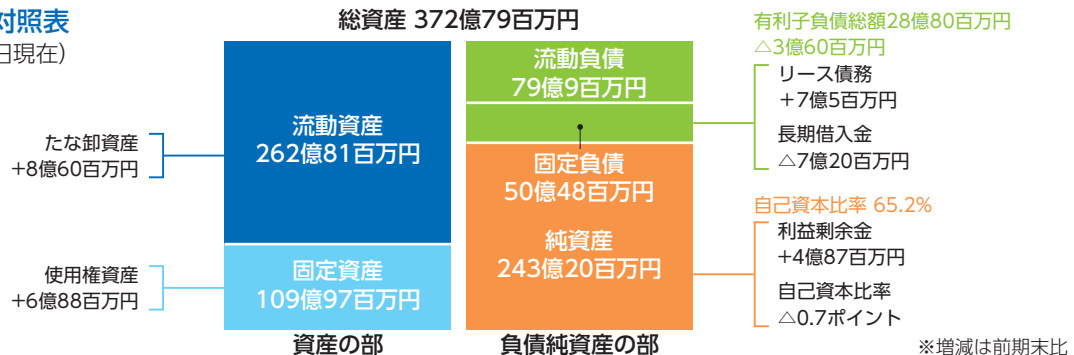
第39期通期 連結業績予想

	第39期通期 連結業績予想	前期比
売上高	420億円	1.8%減↓
営業利益	30億円	29.4%減↓
経常利益	28億円	29.6%減↓
親会社株主に帰属する当期純利益	19億円	34.1%減↓
ROE	8.1%	4.2ポイント減↓

想定為替レート：105.00円/米ドル、125.00円/ユーロ

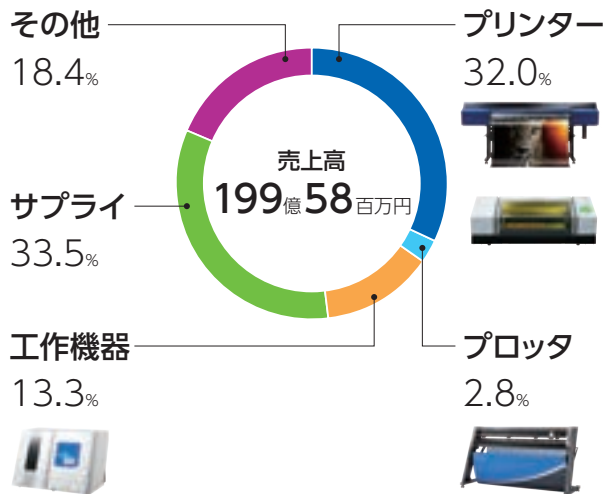
要約連結貸借対照表

(2019年6月30日現在)



事業の概況(品目別)

売上高構成比



リテイール市場では、今年3月には小型UVプリンターVersaUV(バーサユービー)LEF2-200、今年4月には当社初のガーメントプリンターVersaSTUDIO(バーサスタジオ)BT-12を発売しました。昨年12月に発表したソフトウェアcotodesign(コトデザイン)と接続することで、小売店舗におけるデザインデータの作成・注文から商品への印刷、販売までのオペレーションをトータルにサポートします。



このように、プリンターでは新製品の投入や用途拡大、市場開拓に取り組んだものの、売上高は前年同期を下回りました。

プリンター

売上高

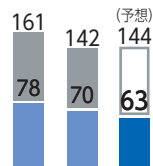
63億88百万円

前年同期比 9.5%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



37期 38期 39期

サイン市場では、市場の成熟化や大手メーカーの参入により競争が激化している状況に対応すべく、当社史上最高の表現力を実現した、低溶剤プリンターTrueVIS(トゥルービズ)VG2シリーズを発表しました。



新製品情報

VersaUV LEF2-200

発売日 2019年3月5日

UV(紫外線)照射で硬化する特殊なインクを搭載した卓上型インクジェットプリンターの新モデル。プラスチック、皮革、木材など多種多様な素材へフルカラーで高精細な印刷が可能です。ユーザビリティを向上させたLEF2-200は、お客様のビジネス拡大や効率化に貢献します。



VersaSTUDIO BT-12

発売日 2019年4月3日

当社初の綿素材に直接印刷ができるA4サイズのガーメントプリンター。Tシャツ、トートバッグ、インテリアグッズなど、さまざまなアイテムに写真やイラスト、文字を印刷してオリジナルグッズを製作できます。店頭に設置しやすい「コンパクトサイズ」、「お求めやすい価格帯」、「簡単操作と安全設計」が特長です。



プロッタ

売上高

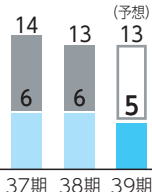
5億58百万円

前年同期比 18.4%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



サイン市場向けの大型カッティングマシンの販売が減少しました。



工作機器

売上高

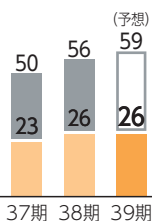
26億45百万円

前年同期比 0.4%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



デンタル市場では、世界最大のデンタル展示会「IDS2019」をはじめとする主要展示会前の買い控えや、前年同期に主力機種の新製品効果があったことなどで、一部地域では売上が伸び悩みました。一方、販売網強化などの成果により販売が増加する地域も見られました。



3Dものづくり市場では、今年1月に小型彫刻機DE-3を発表しました。



工作機器全体の売上高は前年同期並となりました。

新製品情報

DE-3

発売日 2019年2月21日

DGSHAPE初の小型彫刻機。新たに標準装備されたレーザーポインターにより原点設定や加工範囲の確認などが可能となり、安定した彫刻作業を実現しました。工業製品の操作パネル、点字システムのほか、ノベルティグッズの名入れなど、彫刻を必要とする全ての業界でご使用いただけます。



サプライ

売上高

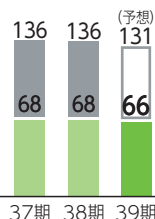
66億94百万円

前年同期比 1.6%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



UVプリンターやテキスタイル用プリンターのインクの販売が増加したものの、為替の円高の影響もあり、サプライの売上高は前年同期を下回りました。



その他

売上高

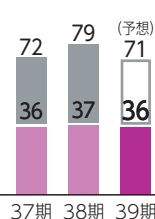
36億71百万円

前年同期比 2.6%減 ↓

売上高

(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期

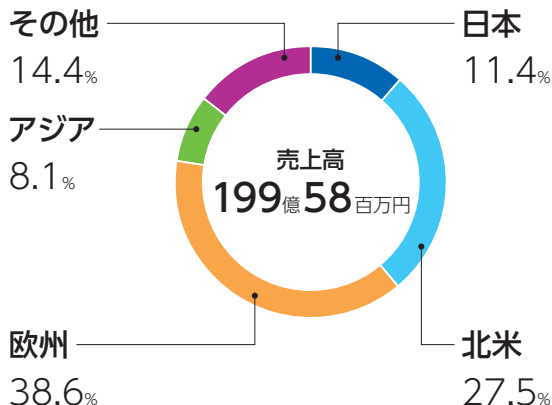


為替の円高の影響もあり、その他の売上高は前年同期を下回りました。

事業の概況(地域別)

グローバルネットワークを通じて、200以上の国と地域に製品と

売上高構成比

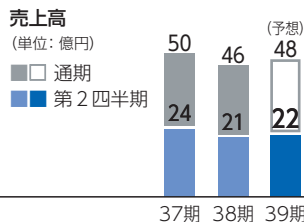


日本

売上高

22億71百万円

前年同期比 4.9%増 ↑



工作機器では、デンタル加工機DWX-52DCiの販売が好調に推移したものの、前年同期を下回りました。

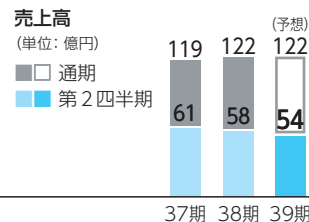
プリンターでは、サイン市場向けプリンターの新製品VG2シリーズが順調に販売を伸ばしたことに加え、パッケージ試作用途のUVプリンターの販売が増加したことで前年同期を上回りました。

北米

売上高

54億87百万円

前年同期比 6.0%減 ↓



プリンターでは、サイン市場向けプリンターが前年同期を上回りましたが、リテイル市場向けUVプリンターおよびサイン市場向けUVプリンターの販売が減少しました。

工作機器では、世界最大のデンタル展示会「IDS2019」を前にした買い控えなどの影響により、デンタル加工機が前年同期を下回りました。

サービスを提供しています



アジア

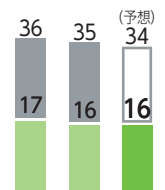
売上高

16億28百万円

前年同期比 1.1%増 ▲

売上高
(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



37期 38期 39期

中国では、サイン市場向けプリンターの販売が減少しました。

韓国とASEAN地域では、サイン市場向けプリンターとデンタル加工機の販売が増加しました。

欧州

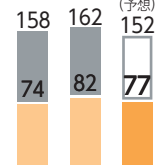
売上高

77億1百万円

前年同期比 7.0%減 ▼

売上高
(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



37期 38期 39期

工作機器では、デンタル加工機において世界最大のデンタル展示会「IDS2019」の開催を前に買い控えが見られましたが、これまで開拓した新規販売代理店の販売が増加したことにより前年同期を上回りました。

プリンターでは、新製品VG2シリーズの販売が順調に進んだものの、既存機種の販売が低調でした。

また、ユーロに対する円高の影響もありました。

その他

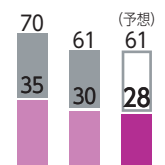
売上高

28億70百万円

前年同期比 6.6%減 ▼

売上高
(単位: 億円)

■ 通期
■ 第2四半期



37期 38期 39期

オーストラリアでは、サイン市場向けプリンターの販売は堅調に推移しましたが、デンタル加工機の販売が減少しました。

ブラジルを含む南米地域では、サイン市場向けプリンターの販売が減少しました。

“心をとらえ、動かす”

特別な表現力を持つ 大判インクジェットプリンター 「TrueVIS VG2 シリーズ」新登場



TrueVIS VG2 Series

発売日 2019年3月5日

広告・看板製作向けインクジェットプリンターの主力製品群の新製品TrueVIS(トゥルービズ)VG2シリーズは、発売後、市場から高い評価をいただいております。海外展示会では栄えある賞を連続受賞しました。VG2シリーズの特長と開発担当者の製品開発にかけた想いをご紹介します。

イノベーションアワード



4月にラスベガスで開催されたサイングラフィックス、印刷、ビジュアルコミュニケーション業界における米国最大規模の展示会「ISA(アイエスエー)」において、「イノベーションアワード」を受賞いたしました。VG2シリーズは、幅広いインクのバリエーションや製品の効率的な操作性、進化したプリント&カット機能などの先進的な技術が高い評価を得て、プリンター部門における唯一の受賞製品となりました。

EDPアワード



5月にドイツで開催された印刷業界の展示会「FESPA(フェスパ) 2019」にて、欧州の印刷業界誌団体EDP(European Digital Press Association)が主催する「EDPアワード」を受賞いたしました。VG2シリーズは、広い色域、滑らかな階調表現、優れた色再現性、進化したプリント&カット機能が高い評価を得て、今回の受賞となりました。

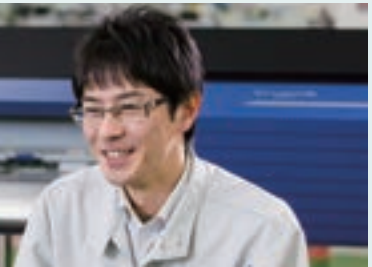
VG2シリーズの主な特長

当社史上最高の表現力を目指すべく開発されたTrueVIS VG2シリーズは、さまざまな新技術により色域の拡大と色再現性を高めました。インクには新色オレンジを含む新開発のTR2インクを採用。TR2インクの特長を最大限に引き出す印刷設定「True Rich Color(トゥルーリッチカラー)」を新たに開発し、鮮やかで豊かな色彩と滑らかなグラデーションによるワンランク上の表現が可能となりました。さらに、プリント&カット精度が向上し、より安定した出力を行うことができます。出力品質や操作性、信頼性など全ての面においてこだわり抜いたVG2シリーズは、サイン市場のお客さまのビジネス競争力の向上に貢献します。

開発者インタビュー

画質、操作性、信頼性の全ての面で最高のプリンターを目指し、新しいインクやカラーマネジメント技術へのチャレンジ、プリント&カットやメディア搬送の精度向上、最新RIPソフトウェアの開発など、チーム一丸となり取り組みました。これからもお客さまに表現することの楽しさや喜びを提供できる製品づくりを心掛けていきます。

開発リーダー
馬場 亮



私たちの仕事は「画質を設計する」こと。新色オレンジを含む新しいインクの広い色域を活かして、サイングラフィックで好まれる色の鮮やかさを実現しながらも、グレーやリアルに描きたいところはより自然な表現ができる、そんな“究極のバランス”を見極めるという難しい作業にチャレンジしました。

カラーマネジメント開発
八木 猛



私たちの仕事は、「プリントヘッドから安定的にインクを吐出させるための適正な制御設計を行うこと」です。プリンターが本来持つポテンシャルを最大限に発揮させるとともに、常にその状態を維持するために、これまでの制御仕様を抜本的に見直しました。エンジニアとして、現状に満足することなく、さらなる高みを目指したいです。

インクシステム制御開発
澤田 哲平



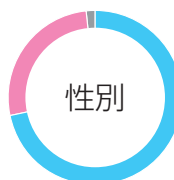
株主さまコーナー

株主さまアンケート集計結果

期間: 2019年3月21日~2019年6月30日

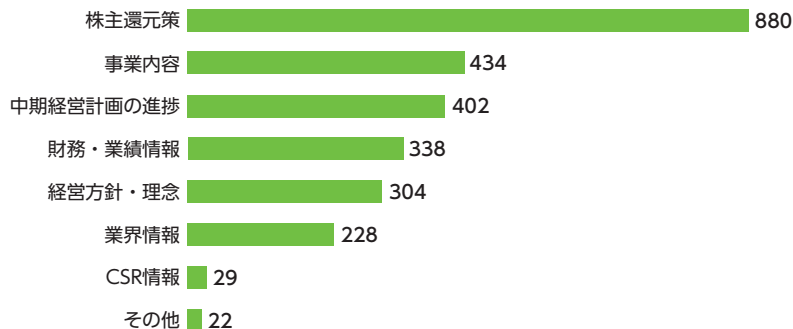
回答数: 1,555名(2018年12月31日付株主数: 18,936名)

前回の DG Value News に同封しました株主さまアンケートの結果の一部をご紹介します。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見・ご要望は今後の経営や IR 活動に活かしてまいります。



Q 当社に関してもっとお知りになりたい情報をお聞かせください(複数回答可)

「株主還元策」についてもっと知りたいと望まれる株主さまが最も多いという結果となりました。本号では、配当方針および1株当たり配当金を冒頭に掲載させていただきました。今後も、株主の皆さまからいただいたご意見・ご感想をもとに、IR活動の充実を図ってまいります。



株主さま Q&A 株主さまアンケートにお寄せいただいたご質問にお答えいたします。



Q 第39期通期業績で減益の見通しの理由を詳しく教えてください。

A

売上高は、プリンターや工作機器が増加するものの、サプライやサービスパーツの減少により減収の見込みです。一方で、利益面では、持続的成長を実現するために技術開発や人材育成など、必要な投資を積極的に行うことに加え、為替水準を円高に想定していることから、減益を見込んでいます。

株主優待品 寄付のご報告

2018年12月31日現在の株主さまにお送りしました「株主優待カタログ」において「東日本大震災、熊本地震および西日本豪雨で被災した地域の子どもたちへの支援」への寄付を募集させていただいたところ、多数のお申し出をいただきました。102,600円を株主さまに代わり現金にて認定NPO法人「カタリバ」へ寄付をさせていただきました。また、株主優待権利未執行分につきましては、「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援」として、認定NPO法人「国境なき子どもたち」へ801,900円を当社名義で寄付させていただきましたことを併せてご報告いたします。多数の株主さまのご芳志を賜り、厚くお礼申し上げます。

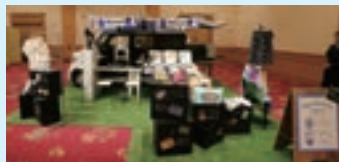


株主総会 ご報告

2019年3月20日、静岡県浜松市のオークラアクトシティホテル浜松において第38期定時株主総会を開催し、昨年と同数の291名の株主さまにお越しいただきました。代表取締役社長の藤岡が事業の報告を行い、決議事項は全議案原案どおり承認可決されました。展示コーナーでは、当社が注力する3事業(DP、COTO、DGSHAPE)のそれぞれ新製品を軸に展示を行い、新たな成長へ向かう取り組みをご紹介します。特に、COTO事業においては、車両に載せた当社製品によるオリジナルグッズ作りなどを通じて、特別な体験を届けるCOTOVANを展示し、事業の理解促進を図りました。今後も株主さまと直接対話できる場として、株主総会の充実を図ってまいります。

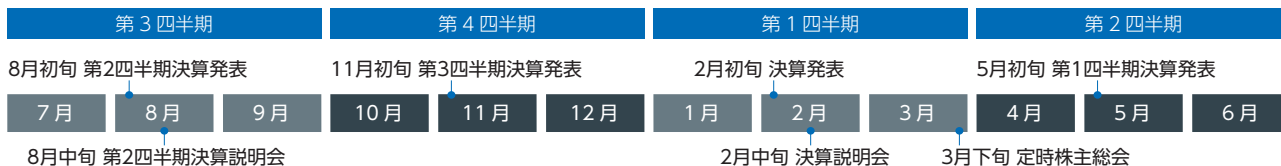


株主総会の様子



COTOVANの展示

年間IRカレンダー



新任取締役インタビュー

変わることを恐れないチャレンジ精神、 共感から生まれる一体感、 スピーディーな意思決定に磨きをかけ、 イノベーション企業を創造してまいります

取締役 コーポレート本部長 うわい としはる
上井 敏治



2019年3月20日に開催した第38期定時株主総会にて、現取締役5名、新任取締役1名の就任が承認可決されました。新たに取締役に就任した上井敏治をご紹介します。

Q 当社グループに入社したきっかけを教えてください

前職では、メーカーの生産技術、開発を中心に、工場運営や子会社経営にも携わってまいりました。「創造の喜びを世界にひろめよう、BIGGESTよりBESTになろう、共感を呼ぶ企業にしよう」の企業スローガンの下、ニッチな市場で独自の強みを磨く当社のものづくりに共感し、2017年1月に入社しました。

Q 現在の取り組みについてお聞かせください

人、モノ、金、情報の経営資源をマネジメントするとともに、内部統制やガバナンスなど事業活動の基盤を固めるコーポレート本部全体を担当しています。同本部では、「グループ全体の变革をリードする」を方針に、グループ経営の企画・管理を通じて経営目標の実現に取り組んでいます。

Q 今後の抱負をお願いします

この度、取締役に拝命し、その責任の重さを痛感しております。入社して2年半経ちますが、「独創性」「独自性」の高い製品群は当社の価値観や文化から生まれていることを実感しています。ビッグデータ、IoT、AIに代表されるデジタル革命をともなった産業構造の急速な変化は、当社の強みを活かしてさらに成長する機会と捉えています。その実現を目指して社業の発展に邁進するとともに、変わることを恐れないチャレンジ精神、共感から生まれる一体感、スピーディーな意思決定に一層の磨きをかけてまいります。

略 歴

- 2015年3月 東海カーボン(株)理事、同社田ノ浦工場長、同社田ノ浦研究所長
- 2016年3月 同社理事、オリエンタル産業(株)代表取締役社長
- 2017年1月 当社入社
- 2017年7月 当社執行役員
当社コーポレート本部長(現任)
- 2019年3月 当社取締役(現任)

■ 会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	1,225人(連結)

■ 役員一覧

取締役社長 ^{*1}	藤岡 秀 則
常務取締役	橋本 浩 一
取締役	田部 耕 平
取締役	上井 敏 治
社外取締役 ^{*2}	広瀬 卓 生
社外取締役 ^{*2}	遠藤 克 博
監査役	中川 正 則
監査役	鈴木 正 康
社外監査役 ^{*2}	松田 茂 樹
社外監査役 ^{*2}	本 田 光 宏

*1 代表取締役です。

*2 (株)東京証券取引所が定める
独立役員です。

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	東京、名古屋、大阪、福岡
サポートセンター	札幌、仙台、広島

■ 連結子会社

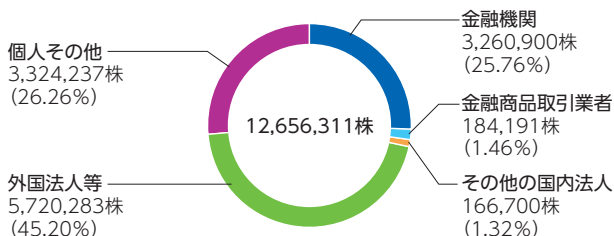
Roland DGA Corporation (アメリカ)
 Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)
 Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)
 Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)
 Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)
 Roland DG North Europe A/S (デンマーク)
 Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)
 Roland DG (China) Corporation (中国)
 Roland DG Korea Inc. (韓国)
 Roland DG Brasil Ltd. (ブラジル)
 Roland DG EMEA, S.L. (スペイン)
 Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)
 Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)
 Roland DG Europe Holdings B.V. (オランダ)
 Roland DG RUS LLC (ロシア)
 DGSHAPE株式会社 (日本)
 Roland DG France SAS (フランス)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	12,656,311株
株主数	10,345人

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,236,100株	9.77%
TAIYO HANEI FUND, L.P.	891,700株	7.05%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	852,300株	6.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	573,300株	4.53%
TAIYO FUND, L.P.	439,300株	3.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	405,400株	3.20%
富岡昌弘	326,900株	2.58%
GOVERNMENT OF NORWAY	300,720株	2.38%
ローランド ディー.ジー.社員持株会	275,726株	2.18%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	206,864株	1.63%

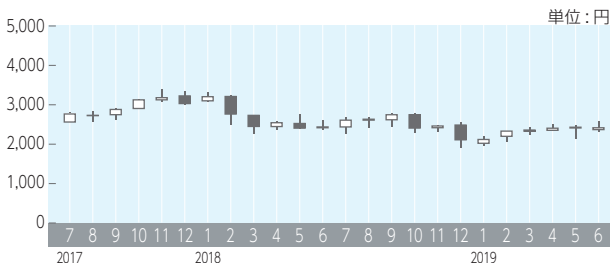
■ 所有数別状況



*自己名義株式195株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。

*記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

■ 株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日
定時株主総会開催時期	3月中
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、インターネットホームページに掲載します。 www.rolanddg.com/ja/investors/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ www.tr.mufg.jp/daikou/
株主優待	毎年12月31日現在の1単元(100株)以上所有の株主さまに、年1回当社が選んだ世界各国の名産品(3,000円相当)を掲載したオリジナルカタログの中から一品を選択していただくものです。
本誌に関する お問い合わせ先	広報IRユニット TEL 053-484-1400
株式・株主優待に 関するお問い合わせ先	広報IRユニット TEL 053-424-6058

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社 IR サイトがホームページランキング調査で入賞しました。

今後もコンテンツや機能を拡充し、積極的に情報開示を行ってまいります。



最新IRイベント

直近の決算発表日や個人投資家向けのIRイベントへの出展など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

個人投資家の皆様へ

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

www.rolanddg.com/ja/investors/

ローランド ディー.ジー. IR

検索



マルチデバイスへの対応

当社の IR 情報をスマートフォンやタブレットからも閲覧いただくことができます。上記 URL に直接アクセスしてご利用いただけます。

